

インフルエンザ - ウイルス分離状況 -

今冬に県内で分離されているインフルエンザウイルス分離数は、3月7日まででAソ連型56件、A香港型8件、B型7件、C型1件です。この他、同時期に呼吸器感染症が疑われた県内の検体からはアデノウイルス3型、RSウイルスが分離されています。分離されたB型ウイルスのうち、6株はワクチン株とは異なるタイプでした。県内のインフルエンザウイルス分離状況を検体採取週別(図1)および年齢階級別(図2)に示しました。

図1 インフルエンザウイルス分離数(検体採取週別)

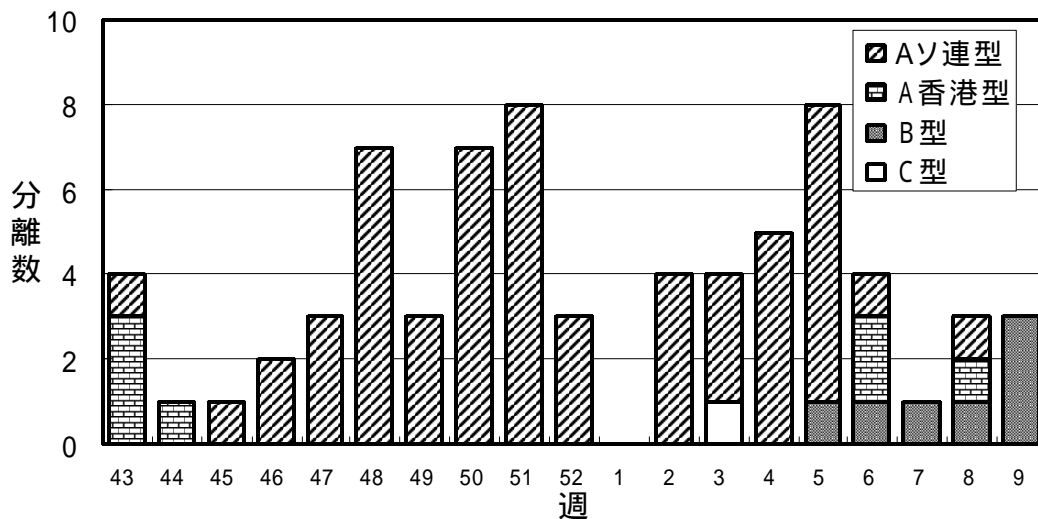
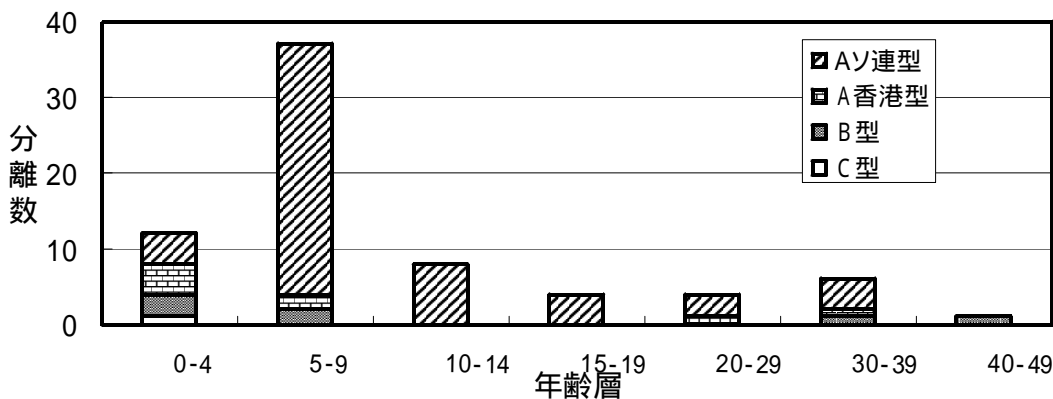


図2 インフルエンザウイルス分離数(年齢階級別)



今冬のインフルエンザ流行のピークは過ぎたと思われませんが、近年の流行は春先まで続くことが多いので、まだしばらくは注意が必要です。

病原体定点の先生方には、引き続き検体採取に御協力をお願いいたします。

インフルエンザに関する全国情報は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.gov.jp/iasr/index-j.html>)で御覧いただけます。